

「国民集会」緊急アピール

われわれは、世代を超え、立場を超え、党派を超え、改革に立ち向かおうとするすべての同志に呼びかける。

いかなる困難が伴おうとも、いかなる犠牲を払おうとも、改革をなし遂げようとする勇気ある者たちを支援し、ともに連帯すべき時期にきている。問われているのは、われわれ国民の決意と行動である。

いま政治改革法案は、今国会中に成立するか否かの重大な局面を迎えている。政治改革は海部、宮沢内閣に続く3度目の挑戦であり、もし3たび、挫折するならば、国民の政治に対する信頼は地に落ち、変革を求める世界の期待をも大きく裏切る結果になりかねない。

国際環境が激変するなか、日本の経済・社会は大きく揺らぎ始めている。長期化する不況、税制改革、規制緩和をはじめとする抜本的な行財政改革の推進等、政治のリーダーシップなしに克服不可能な問題は山積している。

もはや、この期に及んで、改革に対する逡巡は断じて許されない。政治改革法案を今国会中に成立させることによって抜本的な政治・行政・経済改革に道をひらき、新しい日本の建設に立ち向かうべき時期にきている。

われわれは、本日の「政治改革の実現を求める緊急国民集会」の開催にあたり、次の緊急アピールを採択し、法案成立にむけて国民世論の総結集をめざすことを、ここに宣言する。

- 1 われわれは、政治改革法案の今国会成立を強く求める。そのためにも、与野党の改革派議員は党派を超えて団結し、法案の今国会成立を阻もうとするいかなる動きに対しても、共同で立ち向かうことを強く求める。
- 2 与野党の党首は、法案成立にむけて党内をまとめ切る決断と指導力をいまこそ国民に示すべきである。また、連立与党と自民党は法案修正協議を急ぐとともに、細川総理と河野総裁はトップ会談を早急に実現し、不退転の覚悟で決着をつけるべきである。
- 3 主権者たる国民の支援なしに政治改革は実現できない。われわれ、国民は、政治改革の実現に立ち向かう勇気ある国会議員を支援し、ともに連帯する姿勢を明らかにするとともに、改革を阻もうとする動きに対しては断固とした態度で臨むことをここに宣言する。

平成5年11月8日

政治改革推進協議会（民間政治臨調）主催
政治改革の実現を求める緊急国民集会

